


【件名】	平井川整備工事（その35）	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都あきる野市草花地内から同市瀬戸岡地内まで 平井川	【受注者名】	株式会社 上坂重機開発	
【工期】	平成28年10月24日から平成29年6月15日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 上坂 裕次	

【工事概要】

施工延長 L=290.86m
 護岸工 かごマット多段積 1188㎡・練石積護岸 73㎡
 低水路練石張護岸 704㎡・連結自然石護岸 597㎡
 床止め工 床止め 150m ・ 連結自然石 168㎡
 木工沈床 347㎡ ・ 木製根固め 110基
 管理用通路工 鋼製L型擁壁 37m・L型プレキャスト擁壁 24m

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、治水機能の向上を図るため護岸工及び管理用通路工を施工する工事である。本工事の施工では15,000m³の土砂搬出時に市道拡幅、ダンプタイヤの清掃、ダンプ台数の制限等、地元調整を綿密に図り、苦情もなく無事故で工事を完了させた。工事実施では社を上げて安全管理、品質管理、工程管理に努め、平井川固有の生態系を回復させるため熱意を持って取り組んだ事は評価に値する。又、監理技術者は漁協対応を含め現場の状況に応じて速やかな対応を行う等技術力が高く他の模範となるものである。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

工事箇所内には支川との合流場所があり、現場状況から幹川と支川との同時瀬替えを行わなければならない、高水敷への仮水路切り替えには苦労しました。

◇ 特に工夫した点

仮水路の最大流量が少なく降雨による増水の施工への影響を最小限にする為、かつ渇水期に工事を終わらせる為に、左右護岸、河床床止めの施工を平行して行えるよう、仮水路を高水敷に切り回し同時施工を行った。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

工事が完成し、新しい技術と多自然型工法で自然と共生できる景観の変化、工事中何かとご迷惑をお掛けした近隣住民から「綺麗になったね」など話掛けられると工事に携われた事に喜びを感じます。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

多くの作業員とコミュニケーションを取り、地域住民との交流を持ちながら皆で協力して工事を完了させるという、大変ですが最もモノづくりの楽しさに触れられ地図や形として残る仕事です



仮水路状況